



いわて林業アカデミー

し わ ぐ ん や は ば ち ょ う お お あ ざ け む や ま
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山(岩手県林業技術センター内)

修学期間: 1年間(平成30年度は220日間) 定員: 15名(平成30年度修了生は18名)

いわて林業アカデミーが所在する岩手県林業技術センター(以下「センター」という)は、以前から林業機械のオペレータ育成に取り組むため、ハーベスタ、プロセッサなど計6台の高性能林業機械を保有していたことから、常時、林業機械の操作訓練ができることが当アカデミーの大きな特徴となっています。

また、当アカデミーでは現場で必要となる9つの資格(走行集材機械の運転の業務に係る特別教育、伐木等機械の運転の業務に係る特別教育、簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育など)を取得できますが、安全第一に作業ができる人材を育成するため、資格取得後も反復練習に重点をおいています。

7月までにセンターの研修コース(平坦地)において、資格取得に向けた特別教育を行います。機械1台あたり研修生5~6人を配置し、伐倒練習機なども活用し講師がマンツーマン指導をします。冬期にはセンター試験林(傾斜25~30度程度)等で間伐実習を行い、より実践的な指導を繰り返します。

実習の際の留意点として、

- ①危険予知ミーティングや作業計画書の作成・周知等による「安全の注意喚起」
 - ②講師が機械の操作方法の見本をしっかりと示し、操作手順や注意点を伝達
 - ③機械操作は「静かに」「ゆっくり」「丁寧」を念頭に置くよう指導
- の3点に留意しながら実習しています。



研修生募集ポスター



保有する高性能林業機械



ハーベスタの操作実習



プロセッサの操作実習



スイングヤーダの操作実習



伐倒練習機による伐木実習



島根県立農林大学校

島根県いいしぐんいいなん飯石郡飯南町 修学期間：2年間 定員：1学年10名

島根県立農林大学校の林業科は、2年生9名と4月に入学した1年生11名の合わせて20名が在籍し、毎日楽しく且つ厳しい実習に取り組んでいます。近年は、成熟した人工林から木材を収穫し、原木市場や合板工場、製紙会社、木質バイオマス発電工場などに原木やチップを安定供給するために、高性能林業機械を効果的に活用した技術の習得に力を入れて実習に励んでいます。

平成29年度には、県内の木質バイオマス発電関係事業者から寄附をいただき、本校にハーベスタ(KESLA20SH)が導入されました。このハーベスタを活用して、1年次には学校内の実習場で基本的な操作やメンテナンス方法を習得し、2年次に実際の集材現場の山林で、レンタル機のスイングヤーダ及びフォワーダと組み合わせた作業システムの流れを1週間実習します。

現場実習では、①架設から撤収まで様々な場面において起こり得る危険を想像する習慣を身に付けること、②常に次の作業の準備を考えて自ら動くことをテーマとして取り組んでいます。この現場実習が終了した後、2年生はインターンシップに出かけます。その頃には皆、顔つきが変わり成長のあとが見えてきます。学生たちは2年間で確実に成長します。彼らの成長を見ていると、県としても林業従事者の待遇改善を進めていきたいと切に感じます。



ハーベスタ操作実習



機械のメンテナンス



フォワーダ操作実習



実習場での基本操作実習（1年次）



集材現場での実習（2年次）



作業開始前のミーティング